

Rakuna 通信

NO. 4



今年も、あと残すところ1ヶ月となりました。

年々1年が短く感じるようになってきました。

今年もいろいろありました。

今年最後のRakuna通信は、今年1年を振り返ってみて、1番多かった来院理由を調べてみたいと思います。

ながた接骨院 損傷部位ランキング!!

第5位 オスクット・シェラッター病（膝の痛み）

特にスポーツをがんばっている小中学生に多い疾患で、膝のお皿の少し下の部分に、走ったりすると痛みが走るスポーツ外傷で、成長期が終わるまで痛みが続くとも言われていた疾患です。

ながた接骨院では、この疾患に効果抜群のスティムオンと言う治療器があるので、沢山の子供達の痛みを和らげました。



第4位 急性頸部損傷（寝違え）



季節の変わり目に多く起るのが首の急激な痛み、俗に寝違えとも呼ばれ、様々な原因で起こると言われていますが、特に慣れないスポーツや労働をして頭を支える筋肉の一部が損傷を起こし、その炎症症状が引き起こすものとされています。

土曜の午後と日曜・祝日は休診日になります。

年末は、29・30・31日、年明けは、1・2・3日が休診になります。

12 2019							1 2020						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	29	30	31	1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31	1	2	3	4	26	27	28	29	30	31	1

第3位 膝関節捻挫

スポーツ選手が“特にヒザを痛めています。

接触して膝を捻じるのはもちろん、自分で

切り返しの動作等で痛めているケースもあります。



また、ご高齢の方も関節の変形や、長時間の畠仕事などで膝を酷使した後など、歩こうとする時に支えきれず痛めるケースが多いようです。

第2位 背部挫傷（ぎっくり背中）

意外と今年多かったのが、背部挫傷と呼ばれる背中の筋損傷で、

ぎっくり背中とも呼ばれます。原因として考えられるのが、今年の

不規則な気温差だと思われます。暖かいと思っていたら朝晩は急激に冷え込むといった温度差により、熱を逃したくない筋肉が収縮している状態で、筋を引きのばす動きをすることで、筋損傷を起こしやすい為かと思われます。



第1位 腰部捻挫（ぎっくり腰）



今年のながた接骨院来院ランキング1位は、

腰部捻挫でした！中腰や前かがみでの作業中に起こる事が多いこの損傷は、学生から高齢者まで幅広い年代で起こっています。身体を酷使する方はもちろん、デスクワークや長距離運転などの同じ姿勢を取り続けることで起こる腰痛症もあり、ひとり歩くことも困難な程の激痛を伴っている方もいました。海外では『魔女の一撃』とも呼ばれるこの損傷。原因も様々で、症状に合わせて特殊な電気を当てたり腰痛手技を行ったり、体操の指導やテーピングをしながら、最適な施術を行っておりました。

今年で5年目を迎え、1500人以上の患者様にご来院いただき、様々な症状を抱えた患者様と向き合って施術してまいりました。まだ未熟で力不足な部分も多々ありますが、今後も、皆様の健康増進のため、尽力していくたいと思います。

番外編 1



ながた接骨院は、皆様方の御力もあり、色々本で紹介して頂きました。今年も、『令和のベストヒット大賞』『新時代ヒットの予感』という、役に立つブックシリーズの情報書籍で紹介されました。こういった全国版の書籍に紹介されると、うれしいものです！

これからも、『役に立つ接骨院』と呼ばれるように、頑張っていきたいと思います。